

## 編集を終えて

いよいよ『大学教育研究フォーラム』も3号刊行の運びとなりました。親の代、子の代、孫の代、3代目が商売でもしっかりしているかどうかでその後の繁栄が決まるようですが、3号のできはいかがでしょうか。編集を担当した者としては、十二分に満足しております、はい。是非是非、読者の皆様には、隅から隅までくまなく読んで頂きたいこの1冊であります。といっても、私は、お忙しい先生方に、ただただ「執筆をお願い、お願い」と言っただけでしたが、本当に執筆を快くお引き受け下さった先生方、珠玉の原稿有り難うございました。また全体の構成に関して適切な助言を下さったT先生と編集の相棒K先生、全カリ教務のNさん、Tさん、Iさんたちのいつもニコニコ親切丁寧な仕事運びのおかげで完成となりました。総合教育科目を担当している者の一人として、皆さん授業にいろいろな工夫をされているのだと、今更ながらに刺激を受け、考えるところ大でした。わーい、これで私の運営委員2年の任期は終わったぞと思わず顔がほころんでしまうのを感じながら、この編集後記を書いているところです。これがお手元にわたる頃には、心地よい春風が吹いているでしょう。やさしい花の香りと共にとおどけたいこのフォーラムです。

(K. A.)

一粒で三つの味がするという餠玉がむかしあったように記憶しているが、学部選出の全カリ運営委員にも三つの役割がある。運営委員会の委員の他に、言語教育が総合教育のいずれかの構想小委員会の委員、それに通常の学部内諸担当に相当するものである。

こんな基礎的なことも委員になってから気づくといった、恐るべき事前知識欠落状態で委員となり、後は今に至るまで日々は学習である。分からないなりに年度の作業を具体的に進めるのは心許ないものであるが、そこは全カリの伝統、共同担当の先生や事務局、昨年まで担当された先生方が、時期が来たらパッと力を結集して下さり企画を立案することができた。

また、たくさんの役割を負い、それでなくても多忙なはずなのに、全カリに関わっている方々の労を惜しまない協力的な姿勢には本当に敬服させられた。本号に収録したシンポジウムの際も、また、今回の執筆依頼に当たっても、お願いしたすべての方々が快諾してくださった。ここにも全カリらしさを感じた。

それに引き換え、こちらは不慣れに力不足。記念すべき全カリ初年度をなんとか企画に活かそうと思いつつ、ご批判、ご叱責をいただきながらの一年であった。

(Y. K.)